

# リフォーム夏祭り \* 000

毎年恒例リフォーム夏祭りを7月22日に開催いたしました。とても良く晴れた暑い日でしたが、**160組368名**のお客様にご来店いただきました。夏休みのため、木工教室やヨーヨー釣りなど、お子様にもたくさん楽しんでいただき、リフォーム相談会や、塗装勉強会も盛況のうちに終わることができました。大変暑い中の開催ではありましたが、ご参加いただきまして、ありがとうございます。



※今回は、はんば市の売上金を、**西日本豪雨の募金**に充てさせていただきました。お客様からいただきました売上金・寄付金**4,135円**に、社内でも集めました**9,426円**も含め、**合計13,561円**を全額寄付いたしました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



## 一期一会 ふじみ野市 Y様の出会い

アドバイザー兼  
コーディネーター  
やべ みさ紀  
**担当 矢部 みさ紀**



Y様との出会いは、都内からお引越されるにあたり、地域に密着した会社さんにとのことで弊社にお声かけ頂いたことがきっかけです。今年の春のお引越しにむけ、昨年の秋頃より、何度もお打ち合わせを重ねさせていただきました。今回の工事で、キッチンの交換・配置変更から家全体の内装・細部にいたるまで手を入れさせていただきました。Y様の新しいお暮らしのスタートにお力添えでき、大変嬉しかったです。(奥様のご出身と私の出身地が大変近く、ご縁も感じました!!)今後とも宜しくお願致します★



### Y様の声

**リフォームする事が初めてでしたが、色々相談に乗って頂き不安はありませんでした。とお言葉を頂きました!**

第74号



## 多田良雄の42.195 km

七年以前の同時期のこのコラムにも書いてあったお話です。夏になるといつも思いつく光景が、私には有ります。小学五時代の古い家で、三才上の姉と双子の兄と、今をゴウリンブ?で扇風機にあたりながら夏休み最後の宿題の追っ込めし、それからカキ氷アイスを三人で食べていた光景です。部屋の柱には背くらへへの印が三人分有り手に、学王時代の古い家を取り壊し、両親が新築の家を建て直してくれました。新しく設備で二人一部屋、柱が、こちらはすまふぶる良く、快適で、いかにいらくするの、古い家でのその光景が、すく貴重なものでした。と気がつきます。家は新しく、快適にはなりましたが、古い家での思い出は、大切なものなり。手更もほとんど残って、いなくて、なにか懐かしさと愛おしさが出てくるもの。です。歴史の有る古いものは、それなりの良さや思い出がそれだけの家々に深山有りそれには、大事に大切にしたい、また、もうです。この八月には、私自身の自身の建替工事が決り、引越してきて、頂きました。三人の子供が育ち、た家は無くなり、またが深山の思い出、思い出が、深山は、決して忘れる事は出来ません。お客様の方のお話も、手更も、それ、それ、大切だと思え、光景が、深山有る事と思えます。私達が、一件一件手を入れたせていた、たくお家には、一つ一つの大切だと思え、深山有る事、それ、それを大事に大切にしたい、一つ一つ丁寧に、心を込めて手を入れさせて頂きたいと思えます。そして、そのお家に居る全ての人々が、幸せで健康で長生き出来る住まいづくりをもっと、目指して行きたいと思えます。このことは、毎年、夏に思いつく考えです。かなさ、いつも、いつもありたい、ついでに、

平成三十年八月吉日

多田良雄